

科目名	自然科学看護学演習Ⅱ natural science Nursing SeminarⅡ			担当教員 (研究室番号)	林 辰弥 (507)		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否
科目 目的	研究計画の実施に向けて、選んだ指標の妥当性について再度確認するとともに、その指標の測定における精度や効率の向上等を図り、研究計画の実現性や得られた結果の信頼性を高める方法を学ぶ。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。									
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達 目標	1. 看護の基盤となる生命活動の基礎を理解する。 2. 看護の基盤となる各種疾患の発症機序について、生化学的側面から理解を深める。 3. 看護の基盤となる各種疾患に対する薬物療法について、作用機序と有害作用を理解する。										
成績評価方法 (基準)		レポート (100%)									
教科書		定めない									
参考書等		図解薬理学 井上和秀、鍋島俊隆編 南山堂 リッピンコットイラストレイテッド生化学 石崎泰樹、丸山敬監訳 丸善									
受講者への メッセージ											
備考											
回	学習項目			学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1回	細胞、組織、器官及び器官系			生命の最小単位としての細胞、多細胞からなる組織、器官・器官系の役割など					林	対面 (講義)	
2回	糖質代謝			栄養素としての糖質、及び解糖系やクエン酸回路などを利用したエネルギー代謝など					林	対面 (講義)	
3回	脂質代謝			栄養素としての脂質、及びβ酸化による脂質のエネルギー代謝、コレステロールなどの複合脂質の役割など					林	対面 (講義)	
4回	タンパク質代謝			栄養素としてのタンパク質、及び生体構成成分や含窒素化合物の合成材料としてのアミノ酸の役割など					林	対面 (講義)	
5回	微量元素の役割			生体に必要とされる微量元素、及びそれらの生体における役割など					林	対面 (講義)	
6回	生体防御			血液凝固系、細胞性免疫及び体液性免疫による生体防御など					林	対面 (講義)	
7回	核酸と遺伝子			核酸、遺伝子、DNAの複製、DNAを鋳型とした転写・翻訳によるタンパク質の合成など					林	対面 (講義)	
8回	液性相関			各種ホルモンによる生体の恒常性の維持など					林	対面 (講義)	
9回	神経相関			自律神経による生体の恒常性の維持など					林	対面 (講義)	
10回	糖質代謝異常と薬物療法			糖質代謝異常、特に糖尿病の発症機序及びその薬物療法など					林	対面 (講義)	
11回	脂質代謝異常と薬物療法			脂質代謝異常、特に各種脂質異常症の発症機序及びその薬物療法など					林	対面 (講義)	
12回	高血圧の薬物療法(1)			自律神経系、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系による血圧制御など					林	対面 (講義)	
13回	高血圧の薬物療法(2)			自律神経系、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系を標的とした高血圧の薬物療法など					林	対面 (講義)	
14回	狭心症、心筋梗塞などの血栓性疾患の成因と薬物療法			各種血栓性疾患の成因、代表的な血栓性疾患に対する薬物療法など					林	対面 (講義)	
15回	各種精神疾患に対する薬物療法 まとめ			統合失調症治療薬、抗うつ薬、抗不安薬など					林	対面 (講義)	